



笑顔とやる気いっぱいの中 生徒自らが常に鍛え続ける中

七中だより



第 7 号

中野区立第七中学校《学校だより》

令和2年7月14日

TEL 03-3389-4171

廊下全長約450m・クレセント錠254ヶ所

校長 池田 俊一

コロナウイルスへの対策の一つに換気がありますが、それとは別に新鮮な空気は、大きく吸い込むだけで、体も気持ちもリフレッシュする気がします。換気は一年間を通じて大切なことですね。特にこれからは、暑い空気が一晩残ってしまいます。

さて本校の校舎は4階建てです。東側の校舎は4階部分が少し屋上になっています。各階の長い方の廊下は70mそこから直角に折れて50mあります。廊下全長は1階から4階まで合計約450mです。そこには廊下側の窓と教室側の窓が必ず存在し光を取り込み、空気の入れ換えが簡単にできるようになっています。

本校には、毎朝この広い校舎の窓を開けてくれる先生が何人かいます。大変ありがたいのです。みんなが登校したときの清々しい空気は、この先生たちのお陰です。では窓はいくつあるのでしょうか。ある朝開けられている窓を全部数えてみると254ヶ所ありました。クレセント錠を254個解錠し窓の左右を開く、とても大変な事です。一つの窓の開け閉めはそんなに難しく無いけれどこれだけの枚数を少ない人数だと実際骨も折れるものです。また、毎日となるとなかなか大変なことでしょう。私は、この窓開けを見て、少し前にテレビCMで流れていた缶コーヒーの宣伝で「世界は誰かの仕事でできている」というのを思い出しました。ひげの濃い若手俳優さんがいろいろな職業の人になって撮影していて私は「確かにそうだな」って思いました。この前、実際に私も窓開けを手伝ってみました。確かに大変です。自分はワンフロア終わったところで別の階から降りてきた先生と出会って「上は終わりました」の声にほっとしたのです。

そして、こんなことがありました。その日は、窓を開け

た後で風雨が強くなったのでしょ。けっこう廊下に雨が吹き込んで、よく見ると廊下の半分ぐらいまで達し濡れていました。私は、そこで少し足をとられました。そのとき、「梅雨なんだから、後から強く降って来る事も予想して、少なめに開けるのが常識でしょ。」と心が言いました。それから「濡れたら拭く手間だってあるじゃない。」更にそう私の心が言うのです。でも思い出してみると前日に私は「爽やかな風をうけて窓がしっかり開いてるって気持ちがいいな。感謝感謝」って言っているのです。それを思いだして、自己中心的な私が恥ずかしくなりました。

出勤して窓を開けるのは、当番があるわけではありません。きっと後から来る生徒や先生が気持ちよく一日を始められればいい、破損などはないか、安全であるかななどを点検し環境を整えておこうと毎日、暑い空気を入れ換えているのだと思いました。

このことがあって私は、少なくとも何かあった時、実際に動いてくれた人の事を考えずに「～が常識でしょ。」と生意気なことを言うのは絶対にやめようと思いました。誰のしてくれたものなのか、どんな思いでしてくれたのかも知りもせず、知ろうともせずにつぶやくのは良くないです。それから、自分が窓を開けた人であったとき「～が常識でしょ」と諭されたら「そのとおりですね」と素直に受け入れられるようになりたいとも思いました。世の中は損や得とは異なる「誰かの仕事」できてることも沢山あるのでしょうか。



「はじめまして 副校長の 関山 一樹 です。」

はじめまして。今年度、区内の中野中学校から異動して参りました副校長の関山一樹と申します。生まれも育ちも北海道の旭川市で、大学進学から東京都民となり今に至ります。4歳からスキーを始め、大学でも体育会の競技スキー部に所属しておりました。引退後の悩みとしては、今現在もカービングスキーの性能を生かし切れないところです。

教員になってからの経歴は杉並区で初任として採用となり、その後は国分寺市、都庁の青少年・治安対策本部、再び国分寺市でお世話になり、その後、中野区に副校長として参りました。部活動については自分が当初より希望していたサッカー部の顧問として、幸運にも初任の頃から担当させていただき、「謙虚な気持ち」「直向きな気持ち」「真面目な気持ち」を部のモットーとして活動してきました。

そして、今現在は、第七中学校に赴任し、校長先生をはじめとして、教職員のみならず、PTA役員のみならず温かく迎え入れていただき、今に至ります。まだまだ、分からないところが多々あるかと思いますが、大いに第七中学校の良さを見いだしていきたいと思っています。当初は新型コロナウイルス感染症防止による臨時休業期間ということもあり、生徒の姿が見えなく、正直、異動してきたという気持ちになることができませんでした。しかし、校庭で実施された入学式や個別連絡日で、生徒たちの清々しいあいさつや笑顔、先生たちの話をしっかり聞く態度に、第七中学校に異動した実感と、素敵な学校に異動することができた喜びに包まれております。今後とも、どうぞ、よろしくお願いいたします。

「第七中学校生徒の様子」

E組生徒の願いを込めた短冊が笹竹に飾られています。



7月10日(金)に第七中学校を会場とし、漢字検定が実施されました。



定期考査前の補充教室を各教科で実施しております。

